

## 土木広報センター ニュースレター (No.12)

発行日	2021年 3月 1日
紹介者	土木学会理事、京都大学大学院 工学研究科 教授 木村 亮

### 映画の中の選奨土木遺産を見つけ、新たな広報活動に繋げよう

本年度から理事を拝命し、コミュニケーション部門と国際部門担当として微力ながら活動しています。土木広報センターの活動として近年、「土木広報大賞」、「インフラ解説動画」、「ドボクのラジオ」と積極的な学会の広報が実施され、頼もしく思っています。

私は2000年に選定が始まった400件強の土木学会選奨土木遺産の見学を趣味としています。一季節ではなく四季を通して見学しています。また、2012年から毎日1本の邦画を鑑賞しています。基本はビデオ店でレンタルし、本日は3540本目です。日本の風景と日本人が好きなので邦画です。この2つの趣味が合わさると、映画の画面に選奨土木遺産が出てくると、すぐ見つけ嬉しくなります。

2000年度に第1回目の選奨土木遺産が全国から10件選ばれました。全国で橋梁は数多く選ばれていますが、私は岡山市の旭川に架かる京橋が大好きです。この橋は大正6年竣工され、鋼管柱橋脚を有する唯一かつ最古級の大型鋼桁橋です。橋脚は鋼管柱ですが、当時はスパイラル状に溶接し大口径の鋼管を作る技術がなく、半割れの鋼管の端を重ね、横断方向と縦断方向にそれぞれリベットで接合しています。円筒形の鋼管の端に、縦に並ぶリベットが大変美しく、とても精巧な構造です。この構造は市電が通る橋面からは想像が付きませんが、100年以上利用された今でも市民に大切にされています。

最近岡山県は映画のロケ地として積極的に手を挙げたのでしょうか、京橋だけでも以下の4つの恋愛映画に使われています。

①「先生！」 2017年公開、主演：広瀬すず・生田斗真

京橋の橋の上での主人公2人の感動的なシーンが印象的。自転車で橋の上を走る広瀬すずの親友は、奥村組のCMに起用されている新米ケンジョ、「奥村くみ」(森川葵)です。

②「8年越しの花嫁」 2017公開、主演：土屋太鳳・佐藤健

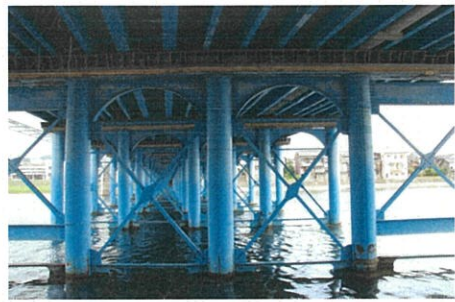
意識不明となった花嫁を新郎は8年間待ち続けた。信じる力が生み出した奇跡の実話。京橋を背景に、車いすに乗る娘(土屋太鳳)と母(薬師丸ひろ子)が語り合いながら夕日の染まるシーンは見事です。

③「君と100回目の恋」 2017公開、主演：miwa・坂口健太郎

④「ういらぶ。」 2018公開、主演：桜井日奈子・平野紫耀

すべて恋愛映画ですが、③と④は主演が好みではなく、私の中で映画も低評価でコメントはありません。

選んだ遺産がどのように作られ、末永くどのように利用されているかを追求していくと、新たな広報戦略も見えてきます。『あらゆる境界をひらき』、日々邦画を研究して、広報活動の新しい動きを作っていきたいと思えます。



写真左：岡山市の旭川に架かる京橋全景

写真右上：鋼管柱橋脚が並ぶ

写真右下：リベットで接合されている橋脚

(撮影：木村 亮)

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 下山、佐藤、小林  
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: eprcenter@jsce.or.jp